

1 指標・目標値及びその考え方(中間評価)

○ **重複記載欄**
 栄:栄養・食生活 運:身体活動・運動 休:休養・こころの健康づくり 喫:たばこ 飲:アルコール 歯:歯の健康 糖:糖尿病 循:循環器疾患 が:がん 親:健やか親子

○ **名古屋市中核市欄**
 資料に名古屋市・中核市を含む場合、該当欄に○印が付してある。

○ **指標・新目標値へについて考え方(中間評価)欄**
 指標とした理由等について太字で記載(上段の内容と同じものは省略)し、計画策定時及び中間評価・見直し時の目標値の考え方を記載している。

番号	分野	指標の性質	項目	指標	資料	名古屋市	中核市	重複分野	策定時		中間評価時		指標・新目標値への考え方(中間評価)	
									ベースライン値	目標値(単位等)	直近値	判定区分		新目標値(単位等)
1	栄養	健康	肥満者の減少	20～60歳代男性の肥満者の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	糖循	22.0	15%以下	24.2	C	15%以下	○肥満は各種疾病のリスクファクターであり、肥満予防が生活習慣病の予防につながる。 ○策定時の目標値は、国と同値で設定した。 ○直近値(平成16年)では悪化しているが、糖尿病有病率等の抑制の必要があるため、当初の目標値は変更しない。
2	栄養	健康	肥満者の減少	40～60歳代女性の肥満者の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	糖循	17.6	12%以下	15.3	A	12%以下	○策定時のベースライン値(平成12年)は国より約8ポイントの低い値であるが、男性と同じ減少率(約32%の減少)として、目標値を設定した。 ○直近値(平成16年)では、順調に減少してきているため、当初の目標値は変更しない。
3	栄養	健康	肥満者の減少	児童・生徒の肥満傾向者の割合(%)	愛知県「学校保健統計」			親	2.2	1.7%以下	2.0	A	1.7%以下	○肥満は各種疾病のリスクファクターであり、学童期からの肥満予防が生活習慣病の予防につながる。 ○策定時は、国と同じ指標が愛知県にはないため、愛知県学校保健統計(平成11年)の「肥満傾向」と判定された値を0.5ポイント低下させることを目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に減少してきているため、当初の目標値は変更しない。
4	栄養	健康	20歳代女性のやせの人の割合	20歳代女性のやせの人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		21.6	14%以下	27.9	C	14%以下	○女性のやせは、貧血や高齢期における骨粗しょう症との関連が報告されていることから、減少させる必要がある。 ○策定時は、ベースライン値(平成12年)は国より2ポイント低値であり、国と同様8ポイント減を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では悪化しているが、女性のやせを減少させる必要があるため、当初の目標値は変更しない。
5	栄養	行動	脂肪エネルギー比率の減少	1日当たりの平均脂肪エネルギー比率(%)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」			糖循が	26.3	25%	26.4	C	20%以上25%未満	○脂肪エネルギー比率が30%を超えると、心疾患による死亡率や耐糖能異常率が上昇する。 ○策定時は、必須脂肪酸欠乏症予防の観点から最低13%は必要であり、20%以下では脳出血しやすいくと平均余命が短いとの報告があることから目標値を25%とした。 ○日本人の食事摂取基準によると脂肪エネルギー比率の目標値は、1歳から29歳が20%以上30%未満、30歳から69歳が20%以上25%未満、70歳以上が15%以上25%未満と設定されている。このことを考慮すると従来の「25%」という単独数字の設定から新たに「20以上25%未満」という範囲を設定し、新たな目標値とした。
6	栄養	行動	食塩摂取量の減少	1日当たりの塩分摂取量(g)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」			循が	12.6	10g	10.1	A	8g未満	○食塩は、高血圧予防の観点から、諸外国は6g以下、日本では10g以下が推奨されている。 ○策定時は、ベースライン値(平成11年)は、国より約1g低値であるが目標値は10gとした。 ○日本人の食事摂取基準によるとナトリウム(食塩相当量)の目標値は、男性10g未満、女性8g未満と設定されており、国民健康栄養調査及び県民健康栄養調査によるとナトリウム摂取については個人差が大きいということを考慮して、男女ともに「8g未満」という新たな目標値を設定した。
7	栄養	行動	野菜の摂取量の増加	1日当たりの野菜摂取量(g)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」			が	292	350g	235	C	350g	○野菜には、がん予防や循環器疾患の予防となるカリウム、食物繊維、抗酸化ビタミンが多く含まれる。 ○策定時は、野菜は350g～400gの摂取が必要と推定されており、ベースライン値(平成11年)であることから、目標値も350gとした。 ○「食事バランスガイド」にも野菜等に関して70gを1サービングとして5～6サービングをとることを奨励していることから、策定時の目標値は変更しない。
8	栄養	行動	カルシウムを多く含む食品の摂取量の増加	カルシウムを多く含む食品の1日当たりの平均摂取量(牛乳・乳製品)(g)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」				139	200g	133	C	200g	
9	栄養	行動	カルシウムを多く含む食品の摂取量の増加	カルシウムを多く含む食品の1日当たりの平均摂取量(豆類)(g)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」				69	100g	60	C	100g	○カルシウムの摂取には、牛乳・乳製品、豆類、緑黄色野菜が寄与する割合が高い。 ○策定時は、牛乳・乳製品については、平成元年から平成11年までの摂取量の推移から平成22年の摂取量は198gと推計できるので、目標値を200gと設定した。豆類・緑黄色野菜は、国と大差がないので、目標値も同値とした。 ○直近値(平成16年)のカルシウムを含む食品の摂取量は減少しており、また、カルシウムは18歳以上の成人で600～650mgの摂取が国の目標量として設定されているが、平成16年に実施した愛知県調査によると42mgであったため、当初の目標値は変更しない。
10	栄養	行動	カルシウムを多く含む食品の摂取量の増加	カルシウムを多く含む食品の1日当たりの平均摂取量(緑黄色野菜)(g)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」				109	120g	83	C	120g	
11	栄養	行動	朝食を欠食する人の減少	欠食する人の割合(16～19歳)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		7.6	0%	5.4	B	0%	○必要な栄養素を適度に摂取することあわせて、肥満予防・心身に及ぼす健康影響等を含めて重要である。 ○策定時は、国の目標値と同値で設定した。 ○直近値(平成16年)では、順調に減少してきており、当初の目標値は変更しない。

番号	分野	指標の性質	項目	指標	資料	名古屋	中核市	重複分野	策定時		中間評価時			指標・新目標値への考え方(中間評価)
									ベースライン値	目標値(単位等)	直近値	判定区分	新目標値(単位等)	
12	栄養	行動	朝食を欠食する人の減少	欠食する人の割合(男性 20歳代)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		20.7	10%以下	11.6	A	10%以下	<p>○必要な栄養素を適度に摂取することあわせて、肥満予防・心身に及ぼす健康影響等を含めて重要である。</p> <p>○策定時は、国が策定した目標値と同様に、ベースライン値(平成12年)から半減させることで目標値を設定した。</p> <p>○直近値(平成16年)では、朝食の欠食率が男女とも20歳代で最も高く(男性11.6%・女性11.5%)、30歳代、16～19歳と続く。ベースライン値と比較すると順調に減少しており、当初の目標値の変更はしない。</p>
13	栄養	行動	朝食を欠食する人の減少	欠食する人の割合(男性 30歳代)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		19.4	15%以下	15.2	A	15%以下	
14	栄養	行動	量、質ともに、きちんとした食事をする人の増加	1日最低1食、きちんとした食事を家族等2人以上で楽しむ、30分以上かけてとる人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	休糖	65.1	80%以上	62.3	C	80%以上	<p>○楽しく食事をとることは、生への再生産につながり心の健康にとっても重要な要素である。</p> <p>○策定時は、国と同様ベースライン値(平成12年)から、14ポイント増を目標値とした。</p> <p>○直近値(平成16年)では、わずかに悪化しているが、当初の目標値の変更はしない。</p>
15	栄養	行動	外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の割合	栄養成分表示を参考にする人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	糖	11.5	—	10.7	D	40%以上	<p>○必要な栄養素を適度に摂取するために、重要である。</p> <p>○策定時は、国の目標値の設定の考え方が明確でなかったため、設定しなかった。</p> <p>○自分の適性体重を維持することのできる食事を理解している人の目標値が80%以上であり、その約半数の人が食事を理解するのに栄養成分表示を参考にすることを目標とした。</p>
16	栄養	行動	自分の適性体重を維持することのできる食事を理解している人の増加	食事を理解している人の割合(男性)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	糖	58.1	80%以上	59.7	B	80%以上	<p>○必要な栄養素を適度に摂取することあわせて、適正体重を維持するために重要である。</p> <p>○策定時は、ベースライン値(平成12年)が国と大差がないので、国の目標値と同値で設定した。</p> <p>○直近値(平成16年)では、わずかではあるが増加しており、当初の目標値の変更はしない。</p>
17	栄養	行動	自分の適性体重を維持することのできる食事を理解している人の増加	食事を理解している人の割合(女性)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	糖	63.4	80%以上	64.1	B	80%以上	<p>○必要な栄養素を適度に摂取するため、栄養成分表示店普及啓発事業の展開を図る。</p> <p>○策定時は、名古屋・中核市(豊田市・豊橋市)を除き目標値を設定した。</p> <p>○今後、中核市が増える傾向にあるが、策定時の地区を対象として目標値を設定する。直近値(平成16年)では、順調に増加しており、当初の目標値の変更はしない。</p>
18	栄養	環境	外食の栄養成分表示店指定数の増加	栄養成分表示店指定数(件)	愛知県「栄養成分表示店定着促進事業報告」			糖	130	3,000件以上	1,377	B	3,000件以上	<p>○必要な栄養素を適度に摂取するため、栄養成分表示店普及啓発事業の展開を図る。</p> <p>○策定時は、名古屋・中核市(豊田市・豊橋市)を除き目標値を設定した。</p> <p>○今後、中核市が増える傾向にあるが、策定時の地区を対象として目標値を設定する。直近値(平成16年)では、順調に増加しており、当初の目標値の変更はしない。</p>
	栄養	環境	学習の場の増加と参加の促進	食生活改善推進員数(人)	愛知県健康づくり食生活改善協議会報告				3,347	7,000人以上	3,326	A		<p>○市町村において、健康知識の普及を図るために食生活改善推進員(ヘルスマイト)を養成しており、地域活動を推進することが健康づくり等に有効である。</p> <p>○策定時は、愛知県健康づくり食生活改善協議会の上部団体である食生活改善団体連絡協議会や日本食生活協会の計画値に基づく数値を目標値とした。</p> <p>○生活習慣病対策には、予防知識の普及が重要であり、活動している推進員数よりも予防知識を持っているヘルスマイトの養成数を目標値とした方が適当であるため、目標を「活動者数」から「養成数」に変更する。</p>
19	栄養	環境	学習の場の増加と参加の促進	食生活改善推進員養成数(人)	愛知県健康づくり食生活改善協議会報告				—	—	6,222	—	9,000人以上	<p>○食のボランティア団体である食生活改善推進員(ヘルスマイト)が、各地域において食生活を中心とした実践的な健康普及活動を実施しており有効である。</p> <p>○策定時は、愛知県健康づくり食生活改善協議会の上部団体である食生活改善団体連絡協議会や日本食生活協会の計画値に基づく数値を目標値とした。</p> <p>○地域住民への実践をともなった学習の場の提供は重要であり、また直近値(平成16年)についても順調に増加しているため、当初の目標値の変更はしない。</p>
20	栄養	環境	学習の場の増加と参加の促進	栄養についての学習の回数(回)	愛知県健康づくり食生活改善協議会報告				13,639	22,500回以上	18,914	A	22,500回以上	<p>○食のボランティア団体である食生活改善推進員(ヘルスマイト)が、各地域において食生活を中心とした実践的な健康普及活動を実施しており有効である。</p> <p>○策定時は、愛知県健康づくり食生活改善協議会の上部団体である食生活改善団体連絡協議会や日本食生活協会の計画値に基づく数値を目標値とした。</p> <p>○地域住民への実践をともなった学習の場の提供は重要であり、また直近値(平成16年)についても順調に増加しているため、当初の目標値の変更はしない。</p>
21	栄養	環境	学習の場の増加と参加の促進	栄養についての学習の場への参加者数(人)	愛知県健康づくり食生活改善協議会報告				275,406	440,000人以上	207,430	C	440,000人以上	<p>○食のボランティア団体である食生活改善推進員(ヘルスマイト)が、各地域において食生活を中心とした実践的な健康普及活動を実施しており有効である。</p> <p>○策定時は、愛知県健康づくり食生活改善協議会の上部団体である食生活改善団体連絡協議会や日本食生活協会の計画値に基づく数値を目標値とした。</p> <p>○直近値(平成16年)では、減少傾向であるが、当初の目標値は変更しない。</p>
	栄養	環境	ヘルシーメニューの提供の増加と利用の促進	ヘルシーメニュー数	国の調査待ち				—	—	—	E		<p>○必要な栄養素を適度に摂取するために、バランスのとれたメニューの提供が必要である。</p> <p>○策定時は、国の調査が平成13年度に実施予定であったため、その結果から目標値を設定する予定であったため、設定しなかった。</p> <p>○定義を含めてヘルシーメニューの考え方が固まっていないため、目標値から削除する。</p>

番号	分野	指標の性質	項目	指標	資料	名古屋市	中核市	重複分野	策定時		中間評価時			指標・新目標値への考え方(中間評価)
									ベースライン値	目標値(単位等)	直近値	判定区分	新目標値(単位等)	
	栄養	環境	愛知県内で製造販売された食品のうち栄養成分表示を記載した食品の増加	栄養成分表示加工食品数(%)	愛知県広域監視班が取去した700食品中の食品数				33.1	50%以上	29.7	C		○必要な栄養素を適度に摂取するために、栄養成分表示が必要である。 ○策定時は、現状値がなく、目標値の設定をしなかった。(愛知県食品衛生広域監視班が編成されている5保健所で13年度取去した700食品を対象として表示の有無の調査を実施したところ、232個(33.1%)表示されていた。) ○現在、流通網の発達により都道府県に関係なく製造されたものが、県内に流通していることから、現行の「愛知県内で製造販売された食品のうち栄養成分表示を記載した食品の増加」を「愛知県内で流通販売された食品のうち栄養成分表示を記載した食品の増加」に訂正する。目標値については、直近値が475食品(67.8%)であるため、560食品(80%)以上とした。
22	栄養	環境	愛知県内で流通販売された食品のうち栄養成分表示を記載した食品の増加	栄養成分表示加工食品数	愛知県広域監視班が取去した700食品中の食品数				—	—	475	—	560食品以上	
23	運動	行動	日常生活における歩数の増加	1日の歩数 男性(歩)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」			糖	7,721	8,700歩以上	7,856	B	8,700歩以上	○日常生活における身体活動量を増やす具体的な方法として、最も安全で効果的な「歩行」を増加させる。 ○策定時は、ベースライン値(平成11年)の+1,000歩を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、わずかながら増加しており、当初の目標値の変更はしない。
24	運動	行動	日常生活における歩数の増加	1日の歩数 女性(歩)	厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県)」			糖	8,421	9,400歩以上	6,599	C	8,700歩以上	○策定時は、ベースライン値(平成11年)の+1,000歩を目標値とした。 ○当初の目標値は、男性よりも700歩多い9,400歩としたが、直近値(平成16年)では、ベースライン値より-1,822歩であった。これは当初の目標値が過大であったものと考えられるため、目標値を男性と同様に「8,700歩」と変更した。
25	運動	行動	日常生活における歩数の増加	1日に歩く時間30分未満の人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		42.5	20%以下	49.7	C	20%以下	○不活動の人は、疾病の発生割合が高い。 ○策定時は、30分未満の不活動者の割合を半減することを目標とした。 ○直近値(平成16年)は、ベースライン値より6.9ポイント増加し、悪化したため、当初の目標値は変更しない。
26	運動	行動	運動習慣者の増加	運動習慣者の割合 男性(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	21.5	32%以上	24.4	B	32%以上	○週1時間程度の少汗ばむ程度の運動(速歩・自転車等)又は、週2時間程度の散歩レベルの運動を継続することは、健康づくりに有効である。 ○策定時は、国と同様ベースライン値(平成12年)の10ポイント増とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しているため、当初の目標値の変更はしない。
27	運動	行動	運動習慣者の増加	運動習慣者の割合 女性(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	19.7	30%以上	22.0	B	30%以上	○策定時は、国と同様ベースライン値(平成12年)の10ポイント増とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しているため、当初の目標値は変更はしない。
28	運動	行動	意識的に運動を心がけている人の増加	意識的に運動を心がけている人の割合 男性(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		33.6	44%以上	38.1	A	44%以上	○意識的に運動を心がけている人が増加することは、健康増進に有効である。 ○策定時は、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しているため、当初の目標値は変更はしない。
29	運動	行動	意識的に運動を心がけている人の増加	意識的に運動を心がけている人の割合 女性(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		37.1	47%以上	36.8	C	47%以上	○策定時は、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、わずかながら減少しているが、当初の目標値の変更はしない。
30	運動	行動	【高齢者】日常生活における歩数の増加	外出などにより1日30分以上歩く人の割合 男性(65歳以上)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		52.6	63%以上	63.3	A	65%以上	○高齢者においても身体活動を増やすために、歩行を中心とした身体活動量の増加が求められる。ただし、成人と同じ活動量では負担が大きい。 ○策定時は、事業介入効果として、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、男性の目標値は、すでにクリアしているため、実現可能な数値として2ポイント増加し、「65%以上」を新たに目標値とした。
31	運動	行動	【高齢者】日常生活における歩数の増加	外出などにより1日30分以上歩く人の割合 女性(65歳以上)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		51.4	61%以上	61.1	A	63%以上	○策定時は、事業介入効果として、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、目標値をすでにクリアしているため、実現可能な数値として2ポイント増加し、「63%以上」を新たな目標値とした。
32	運動	行動	【高齢者】運動習慣者の増加	運動習慣者の割合 男性(65歳以上)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		36.1	46%以上	38.4	B	46%以上	○高齢者において、自分の体力に合った運動習慣者の増加は、健康寿命の延伸に効果的である。 ○策定時は、事業介入効果として、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しているため、当初の目標値の変更はしない。
33	運動	行動	【高齢者】運動習慣者の増加	運動習慣者の割合 女性(65歳以上)(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		30.2	40%以上	35.9	A	40%以上	○策定時は、事業介入効果として、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しているため、当初の目標値の変更はしない。

番号	分野	指標の性質	項目	指標	資料	名古屋	中核市	重複分野	策定時		中間評価時			指標・新目標値への考え方(中間評価)
									ベースライン値	目標値(単位等)	直近値	判定区分	新目標値(単位等)	
34	運動	行動	【高齢者】何らかの地域活動を実施している人の増加	何らかの地域活動を実施している人の割合 男性(65歳以上) (%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		27.4	37%以上	29.2	B	37%以上	○何らかの地域活動を実施することは、身体活動の増加とともに、閉じこもり予防や地域の仲間づくりによる生きがいがづくりにもつながる。 ○策定時は、事業介入効果として、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しているため、当初の目標値の変更はしない。
35	運動	行動	【高齢者】何らかの地域活動を実施している人の増加	何らかの地域活動を実施している人の割合 女性(65歳以上) (%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		16.1	26%以上	32.8	A	37%以上	○策定時は、事業介入効果として、ベースライン値(平成12年)の10ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、女性の目標値はすでにクリアし、男性をやや上回っているため、男性と同じ目標値とした。
36	運動	環境	健康づくり指導者の養成及び活動の促進	健康づくりリーダーの人数(人)	愛知県健康づくりリーダー登録者数	○	○		1,074	2,000人以上	1,305	B	2,000人以上	○健康づくりのボランティア指導者を増加させることは、県民全体の普及啓発につながり、健康増進への環境づくりとなる。 ○策定時は、毎年100人養成するため、10年間で1,000人増、その内登録者は 84人/年との目標値としたが、実際は、平成15年時点で平均登録者は、34人/年であった。 ○平成17年から養成数を150人/年と変更し、引き続き当初の目標値の達成に努める。
37	運動	環境	健康づくり指導者の養成及び活動の促進	ヘルスケアリーダーの人数(人)	中央労働災害防止協会ヘルスケアリーダー養成研修会修了者数	○	○		187	230人以上	207	A	230人以上	○健康的な運動習慣を確立するためには、ヘルスケアリーダーが必要である。 ○策定時は、全国の伸び率と同様の伸び率により目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しており、当初の目標値の変更はしない。
38	運動	環境	健康づくり指導者の養成及び活動の促進	ヘルスケアリーダーの人数(人)	中央労働災害防止協会ヘルスケアリーダー養成研修会修了者数	○	○		1,036	1,270人以上	1,121	B	1,270人以上	○運動プログラムを実践指導するヘルスケアリーダーが必要である。 ○策定時は、全国の伸び率と同様の伸び率により目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しており、当初の目標値の変更はしない。
39	運動	環境	健康の道の整備促進	健康の道(コース)	愛知県健康の道整備状況調査	○	○		96(23市町村)	130コース(43市町村)	224(37市町村)	A	229コース(42市町村)	○健康づくりのために歩くことに適したコースを整備することにより、健康づくりの支援と歩くことの習慣化を図ることが可能となる。 ○策定時は、「あいち福祉ビジョン」の目標として、平成16年度までに46市町村での整備を予定していたため、増加分の23市町村に各1コース増設し、さらにその10%増のコース数を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、目標値をすでにクリアし、224コース設置された。ただし、毎年1市町村の増加を見込、今後の目標値は、5市町村に各1コースずつ追加とし、229コースとした。
40	休養	健康	自殺者の減少	県内の自殺者数(人)	厚生労働省「人口動態統計(愛知県)」	○	○		1,474	1,000人以下	1,432	B	1,000人以下	○自殺者数は、依然として高い水準にあり、さらなる対策が求められる。施策の効果判定のためにも数値を知る必要がある。 ○策定時は、国と同様、ベースライン値(平成11年)の約3割減少を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、ベースライン値(平成11年)よりも若干減少しており、当初の目標値の変更はしない。
	休養	健康	自殺者の減少	50歳代の自殺者数(人)	厚生労働省「人口動態統計(愛知県)」	○	○		345	245人以下	340	B		○50歳代の自殺者数も、依然として高い水準にあるため、さらなる対策が必要とされる。 ○策定時は、ベースライン値(平成11年)の約3割減少を目標値とした。 ○最終目標年度(平成22年度)までに団塊の世代が50歳代から60歳代となり、母数に大きな変化がある。このため、実数よりも率(人口10万対)の方が正確な評価が可能となるため、実数の指標である本指標は、削除する。
41	休養	健康	自殺者の減少	自殺者の割合:50歳代(人口10万対)	厚生労働省「人口動態統計(愛知県)」	○	○		-	-	33.0	-	22.6以下	○自殺者数は、依然として高い水準にあり、さらなる対策が求められる。施策の効果判定のためにも数値を知る必要がある。 ○最終目標年度(平成22年度)までに団塊の世代が50歳代から60歳代となり、母数に大きな変化がある。このため、実数よりも率(人口10万対)の方が正確な評価が可能となるため、本指標を採用する。 ○平成11年の約3割の減少を目標値とした。
	休養	健康	自殺者の減少	60歳以上の自殺者数(人)	厚生労働省「人口動態統計(愛知県)」	○	○		502	350人以下	480	B		○60歳代の自殺者数も、依然として高い水準にあるため、さらなる対策が必要とされる。 ○策定時は、ベースライン値(平成11年)の約3割減少を目標値とする。 ○最終目標年度(平成22年度)までに団塊の世代が50歳代から60歳代となり、母数に大きな変化がある。このため、実数よりも率(人口10万対)の方が正確な評価が可能となるため、実数の指標である本指標は、削除する。
42	休養	健康	自殺者の減少	自殺者の割合:60歳以上(人口10万対)	厚生労働省「人口動態統計(愛知県)」	○	○		-	-	28.6	-	25.4以下	○自殺者数は、依然として高い水準にあり、さらなる対策が求められる。施策の効果判定のためにも数値を知る必要がある。 ○最終目標年度(平成22年度)までに団塊の世代が50歳代から60歳代となり、母数に大きな変化がある。このため、実数よりも率(人口10万対)の方が正確な評価が可能となるため、本指標を採用する。 ○平成11年の約3割の減少を目標値とした。
43	休養	行動	ストレスを感じた人の減少	ストレスを感じた人の割合 全体(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		67.1	62%以下	72.2	C	62%以下	○ストレスを感じないことが、こころの健康づくりに良い影響を与える。 ○策定時は、国と同様ベースライン値(平成12年)の5ポイント減少を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、ストレスを感じる人は増加しているが、当初の目標値の変更はしない。
44	休養	行動	ストレスを感じた人の減少	ストレスを感じた人の割合 勤め人(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		48.7	43%以下	44.1	A	43%以下	○策定時は、事業の介入効果として、ベースライン値(平成12年)の5ポイント減少を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に減少しているため目標値を変更しない。

番号	分野	指標の性質	項目	指標	資料	名古屋市	中核市	重複分野	策定時		中間評価時			指標・新目標値への考え方(中間評価)
									ベースライン値	目標値(単位等)	直近値	判定区分	新目標値(単位等)	
45	休養	行動	ストレスを感じた人の減少	過度のストレスを感じた人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		28.3	23%以下	28.4	C	23%以下	○過度のストレスは、こころの健康づくりに悪い影響を与える。 ○策定時は、事業の介入効果として、ベースライン値(平成12年)の5ポイント減少を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、ベースライン値との変動がほとんど見られないが、当初の目標値の変更はしない。
46	休養	行動	睡眠による休養を十分にとれていない人の減少	睡眠が十分にとれていない人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		49.3	44%以下	47.8	B	44%以下	○規則正しい生活を心掛け十分な睡眠をとることが「こころの健康」にもつながる。 ○平成12年は、国と同様1割減少を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に減少しており、当初の目標値の変更はしない。
47	休養	行動	睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使う人の減少	睡眠補助品等を使用する人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		9.9	8%以下	10.6	C	8%以下	○睡眠補助品を使用しないで睡眠をとる方が、こころの健康づくりに良い影響を与える。 ○平成12年は国と同様1割以上の減少を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、悪化しているが、当初の目標値の変更はしない。
48	休養	行動	毎日自分で自由に使える時間がある人の増加	自由に使える時間がある人の割合 男性(%)	あいち健康アラブ健康度評価	○	○		84.1	100%	74.4	C	100%	○自分で自由に使える時間は、こころの健康づくりに良い影響を与える。 ○平成12年は、目標値を100%とした。 ○直近値(平成16年)では、悪化しているが、当初の目標値の変更はしない。
49	休養	行動	毎日自分で自由に使える時間がある人の増加	自由に使える時間がある人の割合 女性(%)	あいち健康アラブ健康度評価	○	○		92.7	100%	82.6	C	100%	○自分で自由に使える時間は、こころの健康づくりに良い影響を与える。 ○平成12年は、目標値を100%とした。 ○直近値(平成16年)では、悪化しているが、当初の目標値の変更はしない。
50	休養	行動	趣味をもつ人の増加	趣味をもつ人の割合(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○		74.1	80%以上	72.6	C	80%以上	○趣味は生きがいにつながり、ストレスの解消にもなるため「こころの健康」に重要な要素である。 ○平成12年は、事業の介入効果により10%以上の増加を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、減少傾向であり、悪化しているが、当初の目標値の変更はしない。
51	休養	行動	量、質ともに、きちんとした食事をとする人の増加	1日最低1食、きちんとした食事を家族等2人以上で楽しく、30分以上かけてとる人の割合(%) <small>(再掲)</small>	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	栄糖	65.1	80%以上	62.3	C	80%以上	○楽しく食事をとることは、生への再生産につながり心の健康にとっても重要な要素である。 ○策定時は、国と同様ベースライン値(平成12年)から、14ポイント増を目標値とした。 ○直近値(平成16年)では、わずかに悪化しているが、当初の目標値の変更はしない。
52	たばこ	行動	妊娠中の喫煙をなくす	妊娠中の喫煙率(%)	愛知県「母子保健報告」	○		循が親	5.8	0%	4.9	B	0%	○妊娠中の喫煙は、低体重児の出生など胎児への影響が大きい。 ○策定時は、0%とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に減少しており、当初の目標値は変更しない。
53	たばこ	行動	未成年者の喫煙をなくす	16～19歳の喫煙している人の割合 男性(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が親	18.7	0%	6.7	A	0%	○未成年者については、法律で禁止されており、心身の健康に多大な悪影響を与える。 ○策定時は、0%とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に減少しており、策定時の目標値は変更しない。
54	たばこ	行動	未成年者の喫煙をなくす	16～19歳の喫煙している人の割合 女性(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が親	3.2	0%	4.5	C	0%	○策定時は、0%とした。 ○直近値(平成16年)では、悪化しているが、策定時の目標値は変更しない。
55	たばこ	行動	成人の喫煙率を半減します	20歳代男性の喫煙率(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	—	—	38.2	—	19.1%	
56	たばこ	行動	成人の喫煙率を半減します	20歳代女性の喫煙率(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	—	—	15.7	—	7.8%	○家庭における未成年者や妊婦の受動喫煙等の影響が大きい。 ○策定時には目標値の設定をしなかったが、平成16年の調査の結果、禁煙希望者が喫煙者の半数以上を占めることから、今回新たに半減を目標とする。
57	たばこ	行動	成人の喫煙率を半減します	30歳代男性の喫煙率(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	—	—	46.8	—	23.4%	

番号	分野	指標の性質	項目	指標	資料	名古屋市	中核市	重複分野	策定時		中間評価時			指標・新目標値への考え方(中間評価)
									ベースライン値	目標値(単位等)	直近値	判定区分	新目標値(単位等)	
58	たばこ	行動	成人の喫煙率を半減します	30歳代女性の喫煙率(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	-	-	11.9	-	5.9%	○家庭における未成年者や妊婦の受動喫煙等の影響が大きい。 ○策定時には目標値の設定をしなかったが、平成16年の調査の結果、禁煙希望者が喫煙者の半数以上を占めることから、今回新たに半減を目標とする。
59	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-肺がん(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	97.7	100%	98.5	B	100%	○地域、職域、学校保健等において健康教育や啓発活動を通じて知識の普及を図ることにより、受動喫煙防止に有効である。 ○策定時は、100%とした。 ○直近値(平成16年)では、順調に増加しており、策定時の目標値は変更しない。
60	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-喘息(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	55.9	100%	58.3	B	100%	
61	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-気管支炎(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	64.4	100%	65.3	B	100%	
62	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-心臓病(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	36.3	100%	41.6	B	100%	
63	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-脳卒中(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	23.7	100%	31.9	B	100%	
64	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-胃潰瘍(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	22.0	100%	23.2	B	100%	
65	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-妊娠に関連した異常(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が	62.9	100%	63.5	B	100%	
66	たばこ	行動	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	喫煙の影響-歯周病(%)	愛知県「生活習慣関連調査」	○	○	循が歯	16.2	100%	17.7	B	100%	
67	たばこ	環境	公共の場及び職場における受動喫煙対策の徹底	受動喫煙防止を実施している割合 県立施設(%)	愛知県立施設受動喫煙防止対策推進計画	○	○		-	100%	73.6	D	100%	
68	たばこ	環境	公共の場及び職場における受動喫煙対策の徹底	受動喫煙防止を実施している割合 市町村庁舎(ロビー等)(%)	厚生労働省「喫煙対策実施状況調査(愛知県)」	○	○		-	100%	70.3	D	100%	
69	たばこ	環境	公共の場及び職場における受動喫煙対策の徹底	受動喫煙防止を実施している割合 保健センター(ロビー等)(%)	厚生労働省「喫煙対策実施状況調査(愛知県)」	○	○		-	100%	96.2	D	100%	
70	たばこ	環境	公共の場及び職場における受動喫煙対策の徹底	受動喫煙防止を実施している割合 交通機関(%)	愛知県「公共の場等における受動喫煙防止対策実施状況調査」	○	○		-	100%	14.3	D	100%	